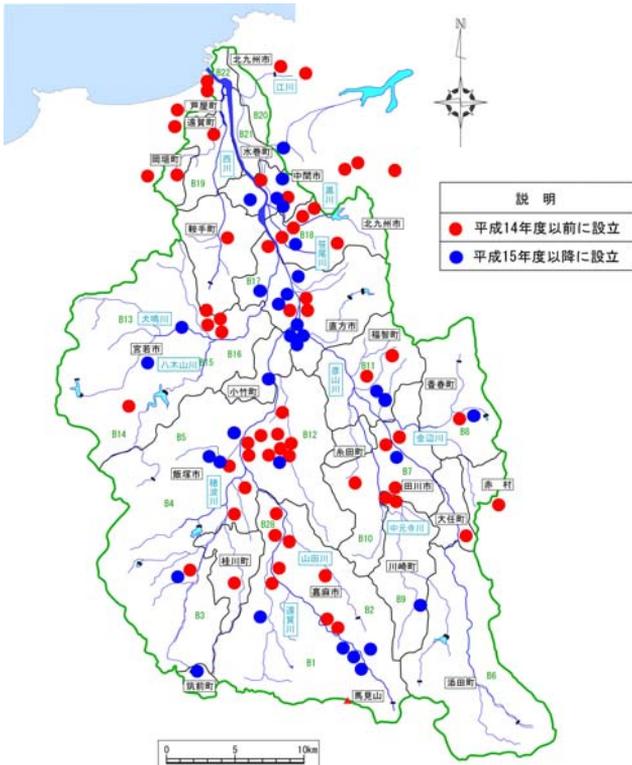


4. きれいになっているの？ 遠賀川

●対策は確実に進んでいます。

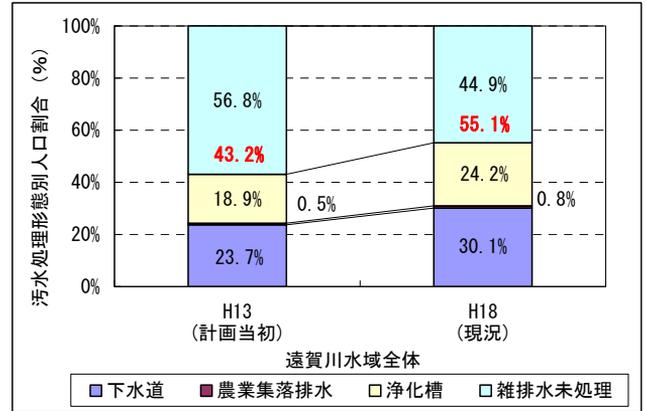
- ・汚水処理(下水道+農業集落排水+浄化槽等)の整備率は、平成18年度で50%を超え、目標年度に対して順調に伸びています。
- ・また、平成21年3月時点で、遠賀川に関わる住民団体は98団体にのぼっており、こうした団体が流域全体や遠賀川のために連携・活動するとりくみ(公(おおやけ)のとりくみ)が、ここ数年活発化しています。



遠賀川流域に活動拠点をもつ住民団体(98団体)

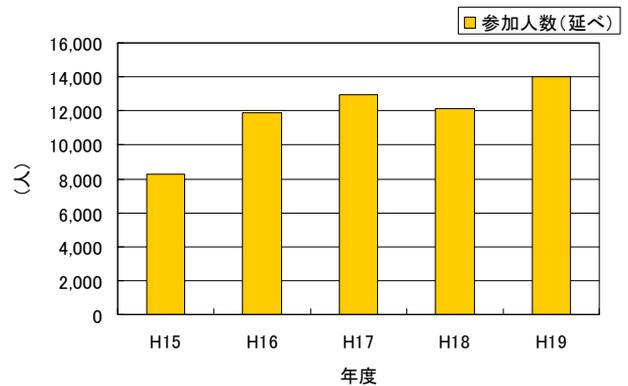
- ・住民団体が主体となったユニークな活動も始まっています。

竹炭等を用いた排水路の浄化(宮若市内)

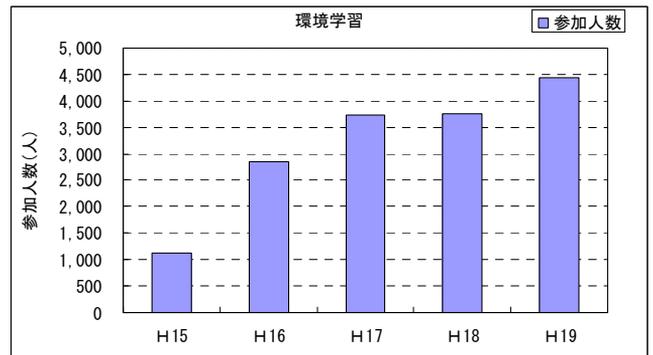


水域全体の汚水処理形態別人口割合(%)

(赤字は汚水処理整備率)



遠賀川流域内で住民団体が主体となった河川清掃活動の参加者人数
※集計可能な活動のみを対象。経年的な増減は目安とする。



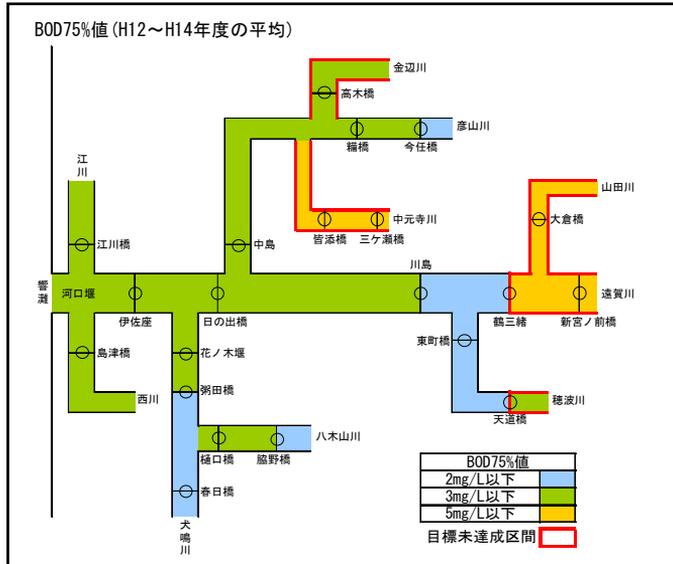
住民団体や市町村が主体となった環境学習活動の参加者数

- ・住民団体が主体となったとりくみの活発化により、清掃活動や環境学習への参加者も増えています。

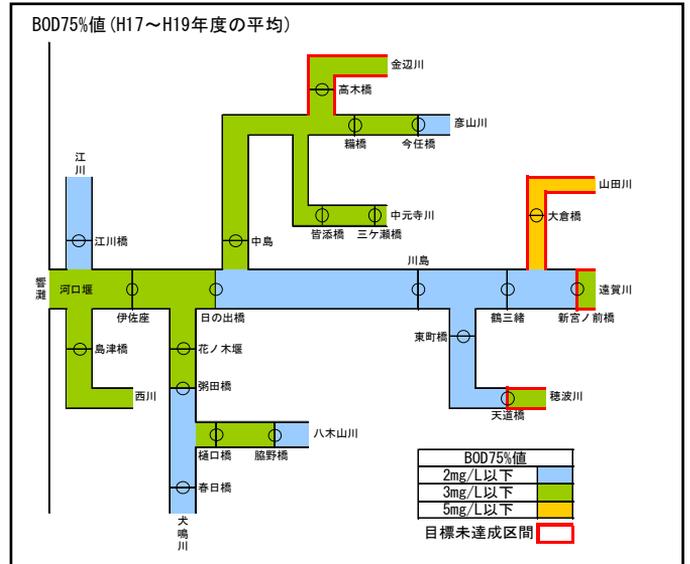
●遠賀川の水質も、見た目で実感しにくい程度の改善ですが、着実によくなっています。

【BOD】

・BODは計画当初と比べ改善傾向にあります。しかし、依然として上流部に目標未達成地点が多くあります。



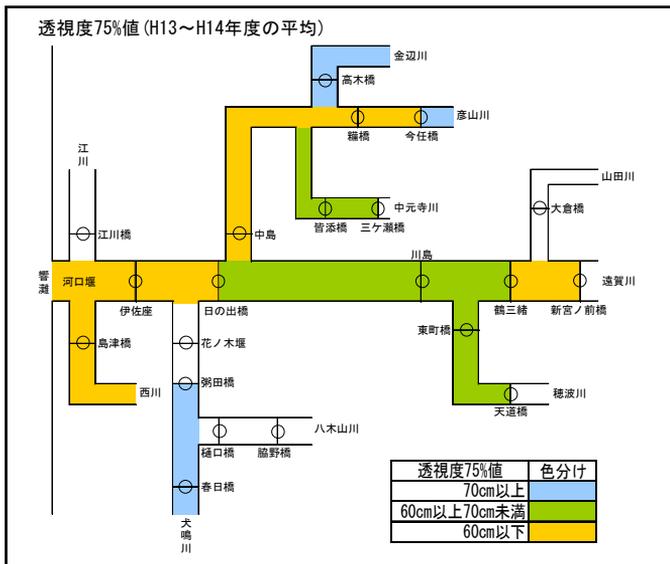
計画当初のBOD (H12~H14年度平均)



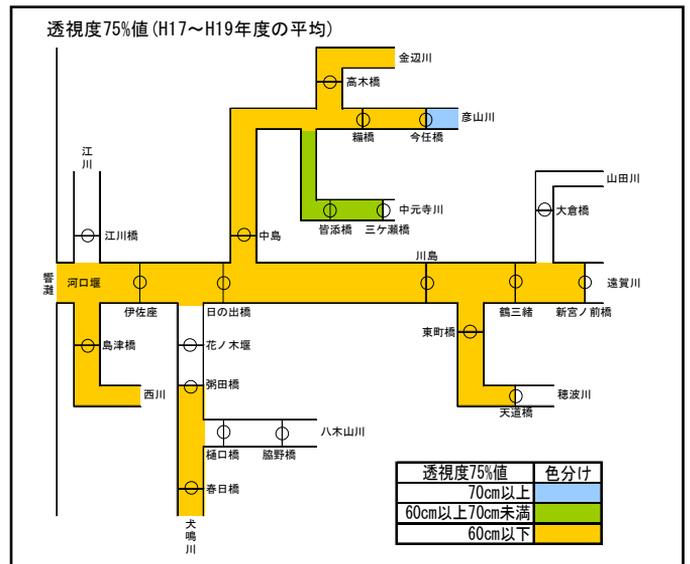
現在のBOD (H17~H19年度平均)

【透視度】

・透視度は計画当初よりも現在のほうが一部の区間で若干低い傾向があります。



計画当初の透視度 (H13~H14年度平均)



現在の透視度 (H17~H19年度平均)